

第3回総合計画審議会

令和8年9月2日 18時30分～20時05分

出席者 貫田会長 廣江副会長 太田副会長 岩野委員 小池委員 白銀委員 若狭委員
高橋委員 西村委員 花岡委員 蘆田委員

欠席者 林委員 小林委員 鈴木委員 谷口委員

① 効率芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

評価 C

意見

委員

今後の取組みに対する意見で、全部適用に取り組んでいただきたいとあるが、公立病院じゃなくて普通の病院としてやっていくことになるので、これからの人口減少でそのやり方で良いのか？目指すべきところなのか？

反対の意見というわけではないが、病院の役割としては、十勝全体の医療の体制等を考えた時に厳しいと感じる。

一部摘要の現状から町民が公立芽室病院をどうしていくか考えた方がいいのでは。

中田事務長

全部適用を目指しているが、町議会の方でも視察に行ったり、議員とのやり取りの中で、今すぐ全部適用を進めるには検証が必要だとなった。引き続き検討していくスタンスでいる。

委員

赤字解消のひとつとして目指していく考えも納得できる。これからの形で進めてほしい。

委員

介護関係の団体とも連携して情報共有したりしているが、今後さらに充実するよう引き続き取り組んでほしい。(意見)

杉本補佐

訪問関係の指標がないので、策定の時に盛り込む考え。

専門部会で意見も頂いたこともあり、検討していく。

② 学校教育の充実

評価 C

意見

委員

施策の方針の地域と共にある学校づくりという表現が、施策を取り巻く状況の⑥とあっているのかを知らないと評価しづらいと考えている。判断しづらい。

有澤課長

施策の方針としては、町全体でのコミュニティスクールを考えており、施策を取り巻く状況の⑥と方向性が乖離しているとは考えていない。

委員

- 1、生活習慣病検査は芽室独自の取り組みだと思うが、これによって子供たちの健康意識が培われているのか？
- 2、不登校が増えていて、メタバースでの取り組みでの結果について聞きたい。

林係長

- 1点目は若いうちから見直すことで、将来の健康的な体作りを行う。引っかかったら保護者に保健師から指導。
- 2点目は居場所づくりとして、去年は2名本利用。徐々に効果が表れてくると考えている。

委員

生活習慣病検査は芽室町独自？

佐々木課長

町単独の取り組みである。

委員

総合計画はまちづくりの最上位と捉えているが、まち・ひと・しごと創生総合戦略と総合計画にズレが生じている。
地域・こどもの話は総合計画に大きく関わることなので、加味して進めてほしい。(意見)

委員

成果指標①の授業の内容がわかる生徒の割合は100%を目指してほしい。
80%の根拠は？20%は切り捨てるように見える。

佐々木課長

成果指標設定の考え方で記載しているが、基準根拠から5%上げるという形。

策定基準から上げていくという姿勢で設定した。

成果指標としてあげるとなると、達成度を評価してもらう仕組みとして、現実的な数値として置いている。

委員

誰一人取り残さないという文言と乖離していると思う。

達成度を目指すにあたり100%にしないことは大人の都合では。

有澤課長

最終目標は 100%であり、数年かけて段階的に100%を目指していこうという年度での目標値。

委員

100%を目指すのはみんな同じで、100%を目指すか2026は80%で次はさらに高い数値を目指していこうということだと読み取る。

委員

目標値について、徐々に上げていく考えなら今後の目標値を上げていってほしい。(意見)

委員

学校を核とした地域づくりとコミュニティスクールとの関係性を聞きたい。

佐々木課長

学校の配置計画を大切にしている部分としては、小中学校の児童生徒の教育条件を大事にしている。

加藤補佐

地域に根差した学校ということでコミュニティスクールと地域で子供を育てる教育環境。

委員

配置計画では地域づくりという考えはない？

あくまで教育条件なのか？

佐々木課長

配置計画の決定にあたって、教育委員会だけで決めるなら地域の方と話す必要はないと

なる。地域と結論をだすということで地域の方と話を進めてきたと捉えている。

③ 地域で支え合う福祉社会の実現

評価 D

意見

委員

ボランティア参加率が高くないことについての見解を聞きたい。

森課長

担当としてはもっと上がって欲しい。

ボランティアや地域の見回り等が増えれば地域の支え合いができることを目指している。

委員

施策名の地域で支え合う地域社会の実現だと、成果指標①のボランティアについての評価はいらぬのではないか？

ゴミ出しを手伝ってくれたり、見回りをしてくれた等の方が大事だと考える。

ボランティアに出たかではなくて、顔の見える関係を気づいてきたかの方が大事なのは。成果指標③の数値53.4%を80%にどうやって目指すか？

森課長

手探りながらと部会で説明したが、当たり前で地域で誰かが誰かを支えるだけでなく、普段からの協力で意識を作りに行くところであり、意識を作る講演会をやったりしているところである。

委員

普段担っているのは町内会活動であるため、はっきり町内会を使って連携する等記載しているのでは？

森課長

切っては切り離せない部分と感じてはいる。

町内会は魅力創造課、福祉は健康福祉課だが、連携していきたいし、別々とは認識していない。

委員

民生委員のなり手不足について、今までの枠組みを離れていかなければいけないかなと。
7の今後の取組みについて、役場に民生委員をもっと使ってほしいとあるが、一人で訪問
というのが難しくなりつつあるので、一緒に訪問できるかたち等も検討して欲しい。(意見)

森課長

新たな取組を始めるところなので、協力してもらいたい。

委員

民生委員をもっと使ってほしいとあるが、1人で回るのはハードルが高い。

要望を出してみる等ハードルを下げないと、動きづらいのではないか。

地域でささえ合う土台を工夫していかなければ、進めていかなければならない。

(意見)

④ 社会教育の推進

評価 C

意見

委員

講座について、ねんりんもしくは図書館で郷土史の講座を検討して欲しい。(意見)

⑤ 地域文化の振興

評価 C

意見なし

⑥ スポーツしやすい環境づくり

評価 C

意見

委員

嵐山でのスキーしやすい環境づくりに期待したい。

江崎課長

担当課と協力しながら進める

⑦ 暮らしの安全・安心の確保

評価 D

意見

委員

昨日から生活道路の速度制限が 30 キロになったが、芽小と芽中のあいだの道路は白線があり、60キロだと考えられる。

危ないため公的な注意喚起を行ってほしい。

齋藤課長

学校周辺の道路はほぼ40キロ規制になっているはずなので、そうなるとその道路も40キロになると考えられる。

過去に学校側からも注意喚起の要望があり、通知したこともあるので、連携して取り組んでいきたい。HP に生活道路の話を載せるページで通学路周りの注意喚起も行いたい。

委員

芽室から農村部に向かう道路に歩道が付随しているが、草が伸びていて見づらい。

運動している人も草で歩道が通れず、車道を走っている。なんとかならないか。

齋藤課長

状況は個人的に把握している。道道が多いので、道に要望していきたい。

状況の把握と道との調整は取り組んでいきたい。

⑧ 地域内経済循環の推進と商工業の振興

評価 D

意見

委員

地域内経済循環率で日本1位になったが、実感がない。

どうすごいか等もよくわからない部分が多いが、ブランドとして押し出せる部分もあるのでは。

西田課長

日経新聞にて2022経済循環で日本1位になったが、経済が生産→分配→消費(支出)と流れる部分で、生産額がそのまま町内の人件費等(分配)の流れがよくて経済循環率が高くなった。

基幹産業の農産物の収益がそのまま町内に流れているのは良いことである。
今後、こういった説明を町民にしていくことが必要になると考える。事務事業にどう乗っかっていくかも含めて、説明していかなければならない。

委員

まちなかの新店舗について、3年前からやっている事業について。

申し込む条件は？

財源は？

何店舗でているか？

出してすぐ辞めたらペナルティあるか？

今まで出した店舗の継続性は？

始めたら既存の店舗と平等か？

西田課長

芽室で新規に起業する人。

規模拡大はだめで0→1の人。

まちなか再生事業との連携で、まちなかは200万、それ以外は100万。

補助するにあたり、創業支援に関する研修を受けてもらわなければならない。

商工会の会員になってもらう。Mカードも入ってもらう。

5年間はやる前提でやってもらう。

ペナルティは設けていないが、申請時点で確実性のないものは落としている。

財源は制度開始 3 年までは国の財源。4年目以降は一般財源。

今までで新規は5件。

今年度は4件ほど新たに上がってきている。

今のところ全部続いている。

創業支援でそのあとは平等。

⑨ 災害に強いまちづくりの推進

評価 D

意見なし

⑩ 国際・地域間交流の推進

評価 C

委員

施策の事業費の大幅増加について教えてほしい。

我妻課長

ブラジルのゲートボール連合からの要請で、第 10 回芽室町記念杯で町長含め4人で行った分であり、次年度には戻る。

意見なし

⑪ 地域資源を活用した観光の振興

評価 E

意見なし

⑫ シティプロモーションの推進

評価 C

意見なし

終了